

日本ボイラ協会「平成 28 年度ボイラー・圧力容器等研究助成」助成課題成果報告会のご案内

日本ボイラ協会では、ボイラー・圧力容器による事故・災害防止、環境保全及び省エネルギーの一層の推進に資するため、ボイラー・圧力容器に関連した分野の調査・研究に対する助成を行っております。

本報告会は、平成 28 年度に助成した課題の主担当者による成果の報告、報告者と参加された皆様との意見交換を通して、研究の成果、ボイラー等を扱う現場でのニーズなどの情報をできるだけ広く共有するために設けており、今回が 5 回目となります。多数の皆様のご参加を期待しています。

日 時 2017 年 6 月 29 日(木) 13:30～

場 所 日本ボイラ協会 第一会議室 (3 階) 東京都港区新橋 5-3-1 JBA ビル

参加費 無料

プログラム

○ 開会の挨拶 13:30 ～ 13:35 日本ボイラ協会

○ 研究助成成果報告 (I) 13:35 ～ 14:55 座長 川口 修 (慶應義塾大学名誉教授)

1) 微粉炭燃焼過程における灰粒子分裂・脱離・凝集のモデル構築

義家 亮 (名古屋大学)

2) 燃焼生成ガス中に含まれる水蒸気からの近赤外放射を利用した高温ガス温度分布測定

中谷 辰爾, 大西 琢磨 (東京大学)

< 休憩 > 14:55 ～ 15:05

○ 研究助成成果報告 (II) 15:05 ～ 16:25 座長 小泉 安郎 (日本原子力研究開発機構)

3) 有限伝熱面上蒸気泡急凝縮・崩壊過程の解明とその制御に基づく高密度高安定冷却機構の提案

上野 一郎 (東京理科大学)

4) 模擬ボイラー内微粉炭濃度分布の 4D トモグラフィック・モニタリングとリアルタイム制御

武居 昌宏 (千葉大学)

○ 閉会の挨拶 16:25 ～ 16:30 日本ボイラ協会

○ 意見交換会 16:30 ～ 17:30

(成果報告者を囲んだ自由な意見交換の場です。)

注 所属は、前者と同じ場合は省略

各報告とも、報告時間 30 分、意見交換 10 分